

平成30年度 静岡大学人文社会科学部
夜間主コース社会人入試試験問題

法 学 科 [小 論 文] SH

平成29年11月25日(土)
10時00分～11時30分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題冊子・解答用紙・下書用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題冊子（この表紙を除く）・・・2枚
解答用紙・・・2枚
下書用紙・・・2枚

問題 次の文章は、一九六〇年代にフランスの大学院に留学した筆者が、当時の経験を回顧しつつ綴ったものである。文章表現も含めて、そうした時代背景を念頭に置いて、以下の問いに答えてください（問一、問二、問三）。

（著作権未許諾のため未公開）

(著作権未許諾のため未公開)

△出典▽ 田川建三「人間の自由と解放―抵抗の言語」同『批判的主体の形成〔増補改訂版〕』（洋泉社 二〇〇九年）、所収。ただし、本書の初版は一九七一年である。

問一 傍線部（ア）について、なぜ筆者は「異常」なことと思っただのか、本文の内容に即して、一〇〇字以内で説明しなさい。

（配点 二〇点）

問二 傍線部（イ）について、どうして「フランス人はアルザス人に文句をつける」のでしょうか？ 本文の内容に即して二二〇字以内で説明しなさい。

（配点 二〇点）

問三 本文の内容を踏まえて、一国内における中央と地方との関係について、あなたの考えを四〇〇字以内で述べなさい。

（配点 六〇点）